

第62回-2019年度 紙パルプ技術協会年次大会 講演のご案内



拝啓

時下ますますご清栄のことと存じます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠に有り難うございます。この度、第62回紙パルプ年次大会において、家庭紙生産性向上への取り組みについて講演させていただき事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

演題： -家庭紙と共に三世代- 令和新時代へ続く家庭紙生産性向上への 先駆的ケミカルアプローチ

講演者： 株式会社日新化学研究所 第一開発部 石川 聡（川之江営業所）

開催場所： 仙台国際センター 展示棟「会議室2」（B会場）

講演日程： 2019年10月23日（水）17:40～18:00（初日、最終公演です）

主なプログラム：

- | | | |
|------------------------------|---|--|
| ①NISSIN-Pitch Control Method | … | 家庭紙工場におけるピッチ問題への包括的ケミカルアプローチについて解説 |
| ②家庭紙工場DIP工程におけるピッチ対策 | … | 粘着物排出促進剤を用いたピッチコントロール方法について解説 |
| ③家庭紙工場KP工程におけるピッチ対策 | … | KP特化型ピッチコントロール剤を用いたピッチコントロール方法について解説 |
| ④家庭紙工場調成工程におけるピッチ対策 | … | ハイブリッド型ピッチコントロール剤を用いたピッチコントロール方法について解説 |
| ⑤家庭紙工場抄紙工程におけるピッチ対策 | … | 外添型ピッチコントロール剤を用いたピッチコントロール方法について解説 |

講演内容（要旨）：

近年、中国のミックス古紙輸入の制限による良質な古紙流通量の減少、アカシヤ等の植林木利用率増加などに起因し、粘着物によるピッチトラブルは増加傾向にあります。原料に含まれるピッチは、原質工程においてある程度除去されますが、残存したものは抄紙工程へ持ち込まれ、そのピッチは、各工程へ付着堆積し、欠点などの品質低下、断紙などの操業性悪化の要因となります。

弊社では、ピッチトラブルの解決手段として、原質工程におけるピッチ対策を最も重要と捉えており、その上で、抄紙工程において局所的かつ必要に応じたピッチ対策を施すことが品質向上、生産性向上へ繋がると考えています。

本講演では、家庭紙工場における生産性向上、特にピッチトラブル改善に関する弊社の取り組みについてご紹介致します。

展示会場（展示棟展示室2・3 No132-No134）にて、紙パルプ年次大会期間中の10/23（水）、10/24（木）に弊社ブースを出展致します。ご来場をお待ちしております。

※年次大会への参加方法について：紙パルプ技術協会への参加申し込みが必要になります。
詳しくは紙パルプ技術協会ホームページ（<http://www.japantappi.org/>）
または紙パ技協誌8、9、10月号をご覧ください。

担当者：土井亮輔 Email：doi@nissin-kk.co.jp
弊社HPアドレス：http://www.nissin-kk.co.jp
TEL：072-671-5101/FAX：072-671-2289